

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置							
フリガナ 設置者	コリツカ ^ナ イカ ^ク ホジ ^ン ナゴヤ ^キ ョウダ ^ク イカ ^ク						【連携外国大学の設置者】 ドイツ連邦共和国 バイエルン州	
フリガナ 大学の名称	ナゴヤ ^キ ョウダ ^ク イカ ^ク イカ ^ク イン						【連携外国大学の名称】 Friedrich- Alexander- Universität Erlangen-Nü- rnberg	
大学本部の位置	愛知県名古屋市長和区御器所町						【連携外国大学の本部 の位置】 Schlossplatz 4, 91054 Erlangen, Germany	
大学の目的	名古屋工業大学大学院は、広く工学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的	エネルギー変換システムに係る関連分野における優れて高度な専門知識及び能力を有し、国際社会における価値観の変容や科学技術の進歩など様々な変化を柔軟に受け入れてその先を見通し、自己の将来像を踏まえて技術者・研究者の視点で本質的な課題を見出し、新たな価値を創造して協奏的に社会を変革する人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	開設時期及 び開設年次	所在地
	工学研究科 [Graduate School of Engineering] 名古屋工業大学・エア ランゲンニュルンベル ク大学国際連携エネル ギー変換システム専攻 (博士後期課程) [Nagoya Institute of Technology and Friedrich-Alexander- Universität Erlangen- Nürnberg Joint Degree Doctoral Program in Energy Conversion Systems]	3 年	4 <46> 人	-- 年次 人	12 <138> 人	博士(工学) 【Doctor of Engineering 】	令和6年4月 第1年次	愛知県名古屋市長和区 御器所町
	計		4	--	12			
同一設置者内における変 更 状 況 (定員の移行、名称の変 更 等)	該当なし							
教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	名古屋工業大学・エア ランゲンニュルンベル ク大学国際連携エネル ギー変換システム専攻	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 単位		

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等		【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】 人数：1名 職名：助教 所属：国際連携エネルギー変換システム専攻
	新設分	既設分	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等	
教員組織の概要	名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学国際連携エネルギー変換システム専攻（博士後期課程）		人 7 (7)	人 2 (2)	人 0 (-)	人 1 (1)	人 10 (10)	人 0 (-)	人 0 (-)	
	計		7 (7)	2 (2)	0 (-)	1 (1)	10 (10)	0 (-)	0 (-)	
	工学専攻（博士後期課程）		124 (124)	78 (78)	0 (-)	0 (-)	202 (202)	0 (-)	0 (-)	
	共同ナノデバイス科学専攻（博士後期課程）		6 (6)	1 (1)	0 (-)	0 (-)	7 (7)	0 (-)	0 (-)	
	名古屋工業大学・ウツゴソソ大学国際連携情報学専攻（博士後期課程）		5 (5)	5 (5)	0 (-)	0 (-)	10 (10)	0 (-)	0 (-)	
計		135 (135)	84 (84)	0 (-)	0 (-)	219 (219)	0 (-)	0 (-)		
合計		135 (135)	84 (84)	0 (-)	1 (1)	220 (220)	0 (-)	0 (-)		
教員以外の職員の概要	職種		専任	兼任	計		大学全体			
	事務職員		137 (137)	24 (24)	161 (161)					
	技術職員		48 (48)	3 (3)	51 (51)					
	図書館専門職員		4 (4)	0 (0)	4 (4)					
	その他の職員		1 (1)	23 (23)	24 (24)					
計		187 (187)	54 (54)	241 (241)						
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体			
	校舎敷地	154,578㎡	0㎡	0㎡	154,578㎡					
	運動場用地	44,982㎡	0㎡	0㎡	44,982㎡					
	小計	199,560㎡	0㎡	0㎡	199,560㎡					
	その他	14,182㎡	0㎡	0㎡	14,182㎡					
合計	213,742㎡	0㎡	0㎡	213,742㎡						
校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体				
	128,980㎡ (128,980㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	128,980㎡ (128,980㎡)						
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体			
	56室	170室	181室	7室 (補助職員7人)	6室 (補助職員6人)					
専任教員研究室	新設学部等の名称			室数						
	国際連携エネルギー変換システム専攻			55室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体		
	国際連携エネルギー変換システム専攻	471,646 [207,572] (471,646 [207,572])	15,637 [12,954] (15,637 [12,954])	9,893 [9,764] (9,893 [9,764])	1,447 (1,447)	6,542 (6,542)	18 (18)			
	計	471,646 [207,572] (471,646 [207,572])	15,637 [12,954] (15,637 [12,954])	9,893 [9,764] (9,893 [9,764])	1,447 (1,447)	6,542 (6,542)	18 (18)			
図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体				
	5,595㎡	472		528,000						
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	2,479㎡	グラウンド、テニスコート、プール、弓道場、馬場、ボート艇庫、ヨット艇庫								

経費の見積り の維持方法 の概要	区分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費（運営費交付金）による	
	教員1人当り研究費等			-	-	-	-	-	-		-
	共同研究費等			-	-	-	-	-	-		-
	図書購入費		-	-	-	-	-	-	-		-
	設備購入費		-	-	-	-	-	-	-		-
学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要											
既設 大学等 の状 況	大 学 の 名 称										
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地		
		年	人	年次 人	人		倍				
	【工学部】						1.05				
	生命・応用化学科	4	210	3年次 2	844	学士(工学) 学士(学術)	1.03	平成28	愛知県名古屋市 昭和区御器所町		
	物理工学科	4	105	3年次 2	424	学士(工学) 学士(学術)	1.04	平成28	同上		
	電気・機械工学科	4	200	3年次 2	804	学士(工学) 学士(学術)	1.09	平成28	同上		
	情報工学科	4	145	3年次 2	584	学士(工学) 学士(学術)	1.09	平成28	同上		
	社会工学科	4	150	3年次 2	604	学士(工学) 学士(学術)	1.07	平成28	同上		
	創造工学教育課程	4	100	-	400	学士(工学) 学士(学術)	1.03	平成28	同上		
	基幹工学教育課程 (夜間主課程)	5	20	-	20	学士(工学) 学士(学術)	1.05	令和4	愛知県名古屋市 昭和区御器所町		
	物質工学科	5	-	-	-	学士(工学) 学士(学術)	-	平成16	同上		
	機械工学科	5	-	-	-	学士(工学) 学士(学術)	-	平成16	同上		
	電気情報工学科	5	-	-	-	学士(工学) 学士(学術)	-	平成16	同上		
	社会開発工学科	5	-	-	-	学士(工学) 学士(学術)	-	平成16	同上		
【工学研究科】											
工学専攻 (博士前期課程)	2	686	-	1,362	修士(工学) 修士(学術)	1.09	令和2	愛知県名古屋市 昭和区御器所町			
生命・応用化学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士(工学) 博士(学術)	-	平成28	同上			
物理工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士(工学) 博士(学術)	-	平成28	同上			
電気・機械工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士(工学) 博士(学術)	-	平成28	同上			
情報工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士(工学) 博士(学術)	-	平成28	同上			
社会工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士(工学) 博士(学術)	-	平成28	同上			
工学専攻 (博士後期課程)	3	37	-	37	博士(工学) 博士(学術)	0.91	令和4	同上			
共同ナノメ ^テ ィン科学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士(ナノメ ^テ ィン科学)	0.77	平成25	同上			
名古屋工業大学・ウー ロン大学国際連携情報学	3	2	-	6	博士(学術)	0.66	平成29	同上			

附属施設の概要	名称	目的	所在地	設置年月	規模等 (建物面積)
	保健センター	教育研究・管理 運営支援	愛知県名古屋市 昭和区御器所町	平成18年4月	509㎡
	情報基盤センター	教育・研究		平成18年4月	643㎡
	ものづくりテクノセンター			平成14年4月	977㎡
	留学生センター			平成25年4月	332㎡
	産学官金連携機構			平成29年10月	3,428㎡
	極微デバイス次世代材料研究センター			平成27年4月	508㎡
	先進セラミックス研究センター		岐阜県多治見市旭ヶ 丘十丁目6-29	平成24年4月	2,754㎡

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（工学研究科 名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学国際連携エネルギー変換システム専攻）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考				
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学									
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計	
研究指導	研究指導		1-3通年	名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学	—	—	—	—				7	2				9	8	1				9	18	
合計（-科目）			—									7	2				9	8	1				9	18	
学位又は称号		博士（工学）（Doctor of Engineering）			学位又は学科の分野			工学関係																	
修了要件及び履修方法					開設大学等			開設単位数（必修）		授業期間等															
（修了要件） 本専攻に3年以上在学し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。					名古屋工業大学			—		1学年の学期区分					—										
					エアランゲンニュルンベルク大学			—		1学期の授業期間					—										
										1時限の授業時間					—										

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（工学研究科 名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学国際連携エネルギー変換システム専攻）（名古屋工業大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考					
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学										
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計		
研究指導	研究指導		1-3通年	名古屋工業大学	-	-	-	-			7	2				9									9	
合計（-科目）			-								7	2				9									9	
学位又は称号		博士（工学）（Doctor of Engineering）			学位又は学科の分野			工学関係																		
修了要件及び履修方法					開設大学等			開設単位数（必修）		授業期間等																
（修了要件） 本専攻に3年以上在学し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。					名古屋工業大学			—		1学年の学期区分					—											
										1学期の授業期間					—											
										1時限の授業時間					—											

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（工学研究科 名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学国際連携エネルギー変換システム専攻）（エアランゲンニュルンベルク大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学								
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計
研究指導	研究指導		1-3通年	エアランゲンニュルンベルク大学	-	-	-	-								8	1					9	9	
合計（-科目）			-													8	1					9	9	
学位又は称号		博士（工学）（Doctor of Engineering）			学位又は学科の分野			工学関係																
修了要件及び履修方法					開設大学等			開設単位数（必修）		授業期間等														
（修了要件） 本専攻に3年以上在学し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。										1学年の学期区分								—						
					エアランゲンニュルンベルク大学			—		1学期の授業期間								—						
										1時限の授業時間								—						

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教育課程等の概要														
(工学研究科 工学専攻(博士後期課程))														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	工学デザイン論及び演習	1①②・1③④		2		○			1					
	研究者・技術者倫理	1③	1			○		2	1					
	イノベーション・リーダーセミナーⅠ	1①②・1③④		2			○		1					
	イノベーション・リーダーセミナーⅡ	2①②・2③④		2			○		1					
	研究プレゼンテーション	1①・1②・1③・1④		2			○		129	84				
	産業技術特別実習Ⅰ	1①・1②・1③・1④		2				○	129	84				
	産業技術特別実習Ⅱ	1①・1②・1③・1④		2				○	129	84				
小計(7科目)		—	1	12	0	—	—	129	85					
専門教育科目	フロンティア科学先進特別講義Ⅰ	1①・1②・1③・1④		1		○			1					
	フロンティア科学先進特別講義Ⅱ	1①・1②・1③・1④		1		○			1					
	工学セミナーⅤ	1①②		2			○		122	80				
	工学セミナーⅥ	1③④		2			○		122	80				
	工学セミナーⅦ	2①②		2			○		122	80				
	工学セミナーⅧ	2③④		2			○		122	80				
	工学セミナーⅨ	3①②		2			○		122	80				
	工学セミナーⅩ	3③④		2			○		122	80				
	学術セミナーⅤ	1①②		2			○		7	4				
	学術セミナーⅥ	1③④		2			○		7	4				
	学術セミナーⅦ	2①②		2			○		7	4				
	学術セミナーⅧ	2③④		2			○		7	4				
	学術セミナーⅨ	3①②		2			○		7	4				
	学術セミナーⅩ	3③④		2			○		7	4				
	エネルギーシステム特別講義A	1①・1②・1③・1④ 2①・2②・2③・2④ 3①・3②・3③・3④		2			○		1					
	エネルギーシステム特別講義B	1①・1②・1③・1④ 2①・2②・2③・2④ 3①・3②・3③・3④		2			○		1					
	エネルギーシステム特別講義C	1①・1②・1③・1④ 2①・2②・2③・2④ 3①・3②・3③・3④		2			○		1					
小計(17科目)		—	0	32	0	—	—	122	84					
合計(24科目)		—	1	44	0	—	—	129	85					
学位又は称号	博士(工学) 博士(学術)		学位又は学科の分野				工学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
博士後期課程において定める下記の修了要件及び博士論文に関する要件を満たし、最終試験に合格した者に博士(工学)又は博士(学術)を授与する。							1学年の学期区分			4学期				
【修了要件】 共通科目3単位以上、専門教育科目4単位以上を含む10単位以上を修得すること。 ・共通科目は、必修科目「研究者・技術者倫理」を含む3単位以上とする。 ・専門教育科目においては、「工学セミナーⅤ」及び「工学セミナーⅥ」又は「学術セミナーⅤ」及び「学術セミナーⅥ」のいずれかを含む4単位以上とする。							1学期の授業期間			8週				
							1時限の授業時間			90分				

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（工学研究科 名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学国際連携エネルギー変換システム専攻）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	名古屋工業大学	研究指導	<p>（概要） 博士の学位に相応しい独創的で高度な研究を遂行できるよう指導を行う。学生は、個々の研究テーマについて問題提起、問題解決の方法の考察、研究計画の立案、結果の取りまとめを行い、研究を進める。指導教員は、これらを指導する。また、学会等への研究発表、学術論文及び博士論文の作成の指導を行う。</p> <p>（1 柿本 健一） 強誘電体を用いたエネルギー変換を研究課題とし、圧電セラミックスの機能に関する研究指導を行う。</p> <p>（2 川崎 晋司） 自然エネルギーおよび未利用エネルギーの有効活用を研究課題とし、高効率光電変換および熱電変換に関する研究指導を行う。</p> <p>（3 羽田 政明） 触媒材料の合成および表面化学解析を研究課題とし、エネルギー変換材料に関する研究指導を行う。</p> <p>（4 早川 知克） 光機能性ガラス及びセラミックスの創成を研究課題とし、光-光及び光-電気エネルギー変換機能システムに関する研究指導を行う。</p> <p>（5 尾形 修司） エネルギー変換材料の理論解析を研究課題とし、原子論的シミュレーションに関する研究指導を行う。</p> <p>（6 林 好一） 量子ビームによる材料評価技術を研究課題とし、放射光・中性子を用いた先端計測手法の基礎と応用に関する研究指導を行う。</p> <p>（7 加藤 正史） エネルギー変換に用いる半導体材料および半導体デバイスを研究課題とし、半導体評価技術に関する研究指導を行う。</p> <p>（8 安在 大祐） 電子情報通信や回路設計を研究課題とし、給電用ハーベスト回路による無線通信に関する研究指導を行う。</p> <p>（9 関 健太） メカトロニクスシステムの設計と制御を研究課題とし、エネルギー変換材料を用いた振動制御に関する研究指導を行う。</p>	

授業科目の概要（国際連携学科等）

（工学研究科 名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学国際連携エネルギー変換システム専攻）

科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	エアランゲンニュルンベルク大学	研究指導	<p>（概要） 博士の学位に相応しい独創的で高度な研究を遂行できるよう指導を行う。学生は、個々の研究テーマについて問題提起、問題解決の方法の考察、研究計画の立案、結果の取りまとめを行い、研究を進める。指導教員は、これらを指導する。また、学会等への研究発表、学術論文及び博士論文の作成の指導を行う。</p> <p>（1 Webber, Kyle Grant） 強誘電体物理や材料評価技術を研究課題とし、鉛フリー材料に関する研究指導を行う。</p> <p>（2 Brabec, Christoph J.） 半導体材料や物性評価を研究課題とし、エネルギー変換デバイスの作製に関する研究指導を行う。</p> <p>（3 Fischer, Georg） 電子情報通信や回路設計を研究課題とし、給電用ハーベスト回路に関する研究指導を行う。</p> <p>（4 Heiss, Wolfgang） 半導体材料や電気化学を研究課題とし、光電変換に関する研究指導を行う。</p> <p>（5 Meyer, Bernd） 分子動力学や表面科学を研究課題とし、触媒材料に関する研究指導を行う。</p> <p>（6 Steinmann, Paul） 連続体力学や機械部品設計を研究課題とし、アクチュエータに関する研究指導を行う。</p> <p>（7 Wellmann, Peter） 結晶成長や半導体物理を研究課題とし、太陽電池結晶に関する研究指導を行う。</p> <p>（8 Mergheim, Julia） 計算科学や有限要素解析を研究課題とし、電気機械結合に関する研究指導を行う。</p> <p>（9 Fey, Tobias） 材料組織設計や第一原理計算を研究課題とし、付加製造技術に関する研究指導を行う。</p>	

名古屋工業大学 設置等に関する組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
工学部				工学部				
(第一部)		3年次				3年次		
生命・応用化学科	210	2	844	生命・応用化学科	210	2	844	
物理工学科	105	2	424	物理工学科	105	2	424	
電気・機械工学科	200	2	804	電気・機械工学科	200	2	804	
情報工学科	145	2	584	情報工学科	145	2	584	
社会工学科	150	2	604	社会工学科	150	2	604	
創造工学教育課程	100	-	400	創造工学教育課程	100	-	400	
基幹工学教育課程(夜間主課程)	20	-	100	基幹工学教育課程(夜間主課程)	20	-	100	
計	930	10	3,760	計	930	10	3,760	
大学院工学研究科				大学院工学研究科				
工学専攻(M)	686	-	1,362	工学専攻(M)	686	-	1,362	
	[10]		[10]		[10]		[10]	
工学専攻(D)	37	-	111	工学専攻(D)	37	-	111	
共同ナノメディシン科学専攻(D)	3	-	9	共同ナノメディシン科学専攻(D)	3	-	9	
名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻(D)	2	-	6	名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻(D)	2	-	6	
				名古屋工業大学・エアランゲンニュ ルンベルク大学国際連携エネルギー 変換システム専攻(D)	4	-	12	研究科の専攻の設置 (事前相談)
計	728	-	1,488	計	732	-	1,500	
	[10]		[10]		[10]		[10]	

[]は、標準修業年限を1年とする定員で内数。